

## スポーツを通じた地域振興：行政の立場から

山下真司\*

よろしくお願いします。薩摩川内市で企画政策課甌島振興グループの山下です。薩摩川内市、まず甌島ってどこなんですかって聞かれる方も、同じ鹿児島県でもおられます。鹿児島県の西方海上の1番近いところで38キロということで、海峡を隔てての合併ということで、九州では2例ぐらいありますが全国でもそんなに沢山は無いです。平成の大合併で誕生したんですけども、本土と離島、甌島は同じ離島でも遠い方の離島ということでかなり注目を浴びました。市全体の人口は9万4千人ということなんですけど、甌島は5,576名です。上甌島、中甌島、下甌島、3つの島から成り立っております。ルビが振ってるからコシキって読めますけど、大抵の方はほとんど読めません。これは弥生時代の蒸し器の形、甌大明神というのがあるのですがこの岩そのままが甌の形に似てるからということ、この名前がつけられております。

甌島でスポーツ関連事業ということで挙げますとイカ釣り大会とか、マラソン大会、アクアスロン大会というイベントをやっております。あと交友事業といたしましては、甌アートプロジェクト、甌アイランドキャンパス事業、昨年、鹿屋体育大学さんから申し込んでいただいて、我々は万歳と喜んだ事業でございます。それぞれの事業について説明させていただきますと、イカ釣り大会というのは上甌島の地域を使いまして、6月上旬にイカを釣ってもらい1匹のイカの重さで優勝者を決めます。昨年の優勝者が2.75キロです。参加者数は平均して100名で、うち90名近くは島外からの方が来られて、1泊2日で釣って帰っておられます。行政が直接やっているのではなく地元の商工会の方が中心となってこの事業を展開しております。次にマラソン大会です。このマラソン大会は平成5年から開催しております。この橋が、甌大明神橋という名前で繋がったことを記念しています。現在、さっき説明した上、中、下となっておりますけど、現在、上と中はこの橋を使って繋がっております。うちは距離がとれないので最長10キロでやっています。将来的に現在、中甌島

と下甌島も繋がるように工事中なので、それが繋がれば一連のもっと大きな大会ができるんじゃないかなと思います。毎年ゲスト、去年が瀬古利彦さんが来られました。それからアクアスロン大会、これは昨年初めて行った事業です。水泳と走り構成しております。水泳が2キロ。走りは下甌島の方中心に展開しております。去年参加者は97名だったんですけども、島外の方々がたくさん来ていただきました。スポーツとは関係ない文化のイベントということで、さっき甌アートプロジェクトということで出させていただきました。若手アーティストの人達が夏休みの期間を使って、いろんな文化とか、あるいは公共施設一部を使ってアートの展示場ということで行っております。アーティストと言っても、なかなか名前の知れてない方、あるいは大学で美大の方を呼んで、1ヶ月泊めてやっています。目的は、地域興しということでやっています。ここからがメインになるんですけども、私共企画の方でやっておりますアイランドキャンパス事業です。元々、甌島は中学を出ますと高校がありません。高校が無くてそのまま本土でずっと暮らしてしまっていて、なかなか大学生の方、あるいは高校生と触れ合う機会がないということで、公開講座ということを目的にして、それを元にU、Iターンの促進を図るということを立てております。募集対象者については短大、大学、専門学校も対象に10名以上の団体を受け入れております。甌アイランドキャンパスなので、甌島を使ってくださいということで、テーマについても甌島に関することをテーマにしております。この中にありますように、甌島における団塊世代を含むU、Iターン者の定住促進方策ということもテーマとして挙げています。今年は25年5月1日から5月31日まで、また募集します。これについては県外、九州県内の大学とか、高等機関にパンフレットを送らせていただいております。勿論、研究して事業の発表をしてくださいということも謳っております。成果報告書とか提言書、地域住民を招いてワークショップをお願いしますということでやって

\*薩摩川内市企画政策部企画政策課甌島振興グループ

います。事業実施期間は25年7月から翌年の2月いっぱいまでということで、それぞれ大学のプログラムによってはなかなか島にすぐ来れるということも無いので、そこはもう自由度が高いということです。平成20年から始めまして、実績としては大学数が4つ、4、4、4に対して事業数が4、6、4とか。これを一部同じ大学でも研究テーマが違えばそれに合わせて、講座それぞれ違うということで大学数と講座数が必ずしも一致はしていません。これまでは文化系事業ということで、島の文化の研究とか観光についてというのがあって、昨今、理工系事業ということで測量を使って地図を描いたりとか、島のエネルギー、新エネルギーについてということでテーマにされた大学があります。去年、鹿屋体育大学から来ていただいて、テーマが甕島の自然環境を利用した野外教育プログラム開発に関する調査ということで、昨年、上甕島の方に来ていただきました。今回、情報収集で視察していただいて、それぞれ大学生の皆さんに野外体験プログラムというのを課題として作っていただきました。実地につきましては、昨年10月6日から8日の2泊3日ということで、調査箇所が5箇所ということでありました。その中で、全体的にどんなところが良かったかと言ったら、景色が良かったとか、ダイビングスポットもあったのでそういうのも利用できますよねと。甕島で長目の浜という一番の景勝地があるんですが、そこが自然の風景と言うんですか、そういう自然観察、生き物の観測するのに向いてるんじゃないんでしょうかということで、評価はいただきました。その一方で改善点という点では、当然海岸なので漂着物が多いとか、夏休み期間しか施設が開いてないという、そういう施設の開設期間が短いということ。あと交通機関が割高ですと。うちのところというのが高速船が通ってますが、片道が大体3,500円かかります。往復だけで7,000円なので、少し高いよねというのが評価として出てきておりました。


今後の課題、展望ということで言えば、鹿児島県というところは離島の数で言ったら長崎県と争うぐらい、全国でもトップ5に入る島の数があります。そういったことから、甕島と種子屋久、あるいは奄美、そういったところとどういう差別化をしていけばいいんでしょうかということです。また、当然、先程イベント関係でもありましたように、それぞれの皆さん協力と島の人達にどうやって関心を持ってもらわないといけ

ないんだろうかという課題が残っております。今年、昨年の応募の際に本年度、25年度に鹿屋体育大学さんの方でそういった野外プログラムというのを開発したいということなので、そこを非常に期待しております。今年もよろしく願いいたします。

**コメント：**弥生時代からの由来がある甕島というふうなご説明を聞いただけでも、行ってみたいなという、本当にそういう思いをしました。その地域がもつ特性を見極めて、上手に生かしてるケースではないかなというふうに感じました。自然の中で行うスポーツの場合には、特にその土地のロケーションとか自然条件というものが重要なポイントになるかと思います。海であるとか、山であるとか、川であるとか、湖であるとか、渓谷であるとか、丘陵であるとか、風とか、東北の方だと雪とか、おいしい水とか空気とか。その地域に生まれ育った人にとっては当たり前、あまりにも当たり前すぎてその良さが見えない場合でも、外から見ると思いがけずその素晴らしさに気付くものにポイントを当てていくというような事業なのかなというふうに感じました。これは私の考え方というか定義なんです。スポーツツーリズムというものは、スポーツを通して旅行者だけではなくて、その土地に住む人々にとってもその地域の新たな魅力とか、宝を発見させ、地域の活性化のきっかけを作ってくれるということで、薩摩川内市が取り組まれている地域活性化策というのはまさにその宝を、地域の人が発見するプロセスなのかな、そんなふうに感じました。

# 甑島について

## 甑アイランドキャンパス事業について



薩摩川内市  
企画政策課  
甑島振興グループ


## 甑島におけるスポーツ関連事業

甑島イカ釣り大会

- \* 甑大明神マラソン大会
- \* 甑アクアスロン大会

## 甑島におけるその他の交流事業

- \* KOSHIKI ART PROJEKT
- \* 甑アイランドキャンパス事業



薩摩川内  
スポーツ

3

## 1 薩摩川内市の概要①

● 位置 薩摩半島の北西部  
薩摩川内市 川内川流域、甑島、万年田池（ラムサール条約登録地）

● 人口 99,589人（12.2%増）  
※平成24年度末人口（94.4%増）  
41,314世帯（12.2%増）

● 甑島 上甑島 中甑島 下甑島

● 面積 683.50km<sup>2</sup>（本土1564.75km<sup>2</sup>・甑島118.75km<sup>2</sup>）  
※九州第4位、鹿児島県第1位、東京23区1.1倍

● 市道・国道・幹線の総延長 約2,800km



● 最新幹線つばね  
鹿児島～川内駅 所要約2時間30分  
川内駅～甑島中央 約13分  
● JR（在来線）  
川内駅～鹿児島中央駅 約50分  
● JR・肥後線ゆめし線  
川内駅～川内駅 約2時間30分  
● 鹿児島バス  
薩摩川内市～鹿児島空港 約60分  
薩摩川内市～鹿児島中央 約40分

● 飛行機  
東京～鹿児島空港 約65分  
名古屋～鹿児島空港 約75分  
大阪～鹿児島空港 約65分  
沖縄～鹿児島空港 約80分



正統旅館・島根温泉地蔵 50分  
(鹿児島～本木野新道) 約25km  
第九西回り自動車道

1

## 甑島イカ釣り大会について

- \* 平成21年度から開催（上甑島地域）
- \* 開催日程：6月上旬
- \* 参加者数 約100名(平均)
- \* 主催：市観光協会






薩摩川内  
スポーツ

4

## 島の概況

- ・上甑島、中甑島、下甑島の3島から構成。
- ・地名の由来は、上甑島と中甑島の間にある巨石の形が古代の蒸し器（甑「こしき」という）に似ていることから。

単位：Km

島名	上甑島	中甑島	下甑島
面積	44.14	7.30	66.12




甑大明神

2

## 甑大明神マラソン大会について


- \* 平成5年度から開催
- \* 開催日程：11月中旬
- \* 参加者数500名(平均)
- \* 主催：薩摩川内市



5

## こしき島アクアスロン大会について

- ※平成24年10月27、28日開催
- ※トライアスロンが、水泳、自転車、走りて構成されているが、このうち自転車を除いた競技のことをアクアスロンという。
- ※種目：ロング、スタンダード、リレー
- ※競技地域：下甕島
- ※参加者：約100名



6

## こしきアイランドキャンパス事業について

### 3 対象事業

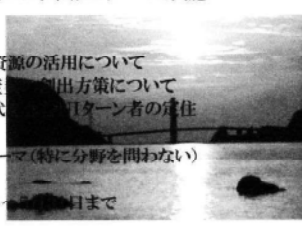
(1) 事業内容

ア 甕島地域において、次のいずれかのテーマで実施する調査・研究等事業

テーマ

- 甕島における未利用資源の活用について
- 甕島における新しい産業創出方策について
- 甕島における同世代移住者やUターン者の定住促進方策について
- 甕島振興に役立つテーマ(特に分野を問わない)

募集期間：平成25年5月11日～〇〇日まで



9

## Koshiki Art Project について

- ※先人たちが守り育てた生きた文化や風土こそ、わたしたちの地域の誇りがある。
- ※地域に内在する独自の文化や価値を掘り起こし、アートを媒体にその魅力を高めていくことで、地域再生の道筋を見出すことを考える。
- ※若手アーティストが夏の一ヶ月の間滞在制作を行い、島全体を展示会場とした展覧会を行うプロジェクトです。



7


## こしきアイランドキャンパス事業について

### イ 事業成果の還元

事業成果を次の方法により、実施した地域に還元するものとする。

- 事業成果報告書・提言書の作成・提出
- 地域住民を対象とした交流会、講演会及びワークショップ等の開催

(2) 事業実施期間  
平成25年7月11日～平成26年2月28日




10

## こしきアイランドキャンパス事業について


### 1 目的

高等教育機関のない甕島を大学等の学外活動の場として提供し、甕島の有する豊かな自然や文化を理解してもらうとともに、地域住民も参加できる公開講座等の開催により、交流人口の拡大やUターン者の促進を図る。



### 2 募集対象者

薩摩川内市の甕島におけるアイランドキャンパス事業への取り組みを希望する大学・短大等高等教育機関の学生等で構成された10名以上の団体



8


## こしきアイランドキャンパス事業について

### ※実績(H20～)

これまで、14大学26事業を実施した。

年度	20	21	22	23	24
大学数	4	4	4	4	6
事業数	4	6	4	6	6

文科系事業：23 (島の文化、観光)  
理工系事業：3 (測量、エネルギー)



11


### こしきアイランドキャンパス事業について

\* 鹿屋体育大学 (平成24年度新規)

テーマ:「甌島の自然環境を利用した野外教育プログラムの開発に関する調査」

目的:甌島の自然環境を活用した野外教育プログラムの開発

内容:情報収集、視察キャンプ、野外体験プログラムの作成

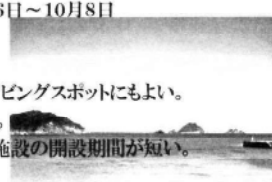


12

### こしきアイランドキャンパス事業について

報告

- 実施日:平成24年10月6日～10月8日
- 調査箇所:5カ所
- 全体的な感想
- よい点:景色がよい。ダイビングスポットにもよい。
- 自然観察により。
- 改善点:漂着物が多い。施設の開設期間が短い。交通費が割高。






13

### こしきアイランドキャンパス事業について

今後の課題及び展望

- 他の離島地域もあることから差別化をどのように図るのか。
- 島民の協力が不可欠なので、島民にいかに関心を持ってもらうのか。



14